



# 更女いばらき

発行  
茨木市駅前3丁目8-13  
茨木地区更生保護女性会

編集  
茨木地区更生保護女性会



栲池にて(南春日丘付近)

暖かい陽射しを受け草木の緑が美しい季節となりました。平素は当会の活動にご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

令和3年4月の役員改選により、はからずも会長という重責を担うことになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和3年度は昨年に引き続き新型コロナウイルスの緊急事態宣言が発出され、第6波まで発生するという異常な年でした。しかし一方では東京オリンピック・パラリンピックが開催され、選手たちの頑張りは私たちに大きな感動を与えてくれました。

さて、更生会活動でも多くの行事が中止になりましたが、秋になって「研修会」と「なでしこほつとサロン」を開催することができました。また会員の皆様のご厚志「愛の募金」は今年も浪速少年院と市内の3養護施設へ慰問金としてお届けすることができました。

今、長引くコロナ禍で生活困窮者が増えています。子育て支援や犯罪防止の観点から更生会も何かできないかと考えました。困っている人に物資を提供し人と人とのつながりを大切にされている「フードパントリー茨木」のを知り、できる範囲で協力することにしました。

家庭で不要になった食料や日用品を会員の皆様からたくさん集めることができ、12月の回収日に持参しました。

これからも社会にいろいろな困難が起こってくると思われますが、更生会は地域に根差した活動と共に時代に即した活動にも積極的に取り組んでいきたいと思っております。

今後共皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



ごあいさつ

茨木地区更生保護女性会  
会長 西島 幸江

虐待かな?と思ったら  
児童相談所全国共通ダイヤル **189**  
茨木市児童虐待相談・通告 ☎072-624-8951  
子育て相談 ☎072-624-0961  
子育てのことひとりで悩まないで

令和3年12月3日(金)  
葦原地区  
子育てサロン「ぶらっと」  
クリスマス会  
葦原コミュニティセンター

**表彰**  
おめでと〜うございます

大阪保護観察所長感謝状  
辻 道子

大阪更生保護女性連盟会長表彰  
松本 早智子

茨木市住みよいまちづくり協議会感謝状  
野村 由紀子

**大阪更生保護女性のつどい**  
とき 令和3年11月5日(金)  
ところ ドーンセンター  
地区会長と表彰者のみ参加。  
つどいの詳細については、  
なでしこ86号をご覧ください。

**家庭に余っているものを「フードパントリー茨木」へ提供しましょう!**

誰もが予期しなかったパンデミックにより令和2年度と3年度の茨木地区更生保護女性会の活動報告書にも、次々と(延期)(中止)が加筆されていきました。当たり前のある生活が送れる有難さを感じた2年間でもありました。

今思えば、一昨年の最初の緊急事態宣言の頃は不透明な先行きの中、私たちが緊張した生活をし、見えないウイルスとの闘いに心を砕く毎日でした。そのうち徐々に、社会への影響や減収や仕事を失った方々が増えたことも報道され、コロナ禍でも更生会として何か役立つ活動はないものかと思いを巡らせる日々も戻ってきました。実際、過去には保護者が生活苦のため子どもが万引きでかろうじて食をつないでいた例などもあったと聞いていたため、役員会の話題に上りました。

そんな時、フードパントリー茨木の活動を知りました。フードパントリー茨木は「子ども食堂」に食材を提供したり、色々な理由で生活困難の方には個別に食料や日用品を届け、その折の会話の中から得た情報により相談窓口を紹介する活動もされています。

この活動への物資提供ならば家庭の日用品や食料の在庫管理を受け持つ主婦が多い更生会会員も無理なくできるのではと役員会において、できる範囲での協力をと、参入を決定しました。その後、昨年12月の回収日に合わせて更生会員に呼びかけ、保護司会にも声掛けし、賞味期限間近の食品や自分の家庭では使わない日用品の提供をお願いしました。

短期間での物品収集にもかかわらず、本当に多くの品をご協力いただきました。12月22日、無事にローズワムでのフードパントリー茨木の回収日に会員の気持ちの集まった品をお渡しすることができました。

今年度は年2回、5月と11月に実施予定です。ご協力をお願いします。

パソコンを購入しました。各分会で御利用下さい。

**ひとがき**  
コロナ禍の中、皆様いかがお過ごしでしょうか。昨年同様、活動自粛でお知らせできる記事がない中、研修部・地域との連携活動推進部との合同研修会、なでしこホットサロンが開催されましたことをうれしく思います。今年度こそ活動が再開でき「更女いばらき」が充実したものにすることを願います。第34号発行にあたり、ご協力いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。

**本年も 島原手延素麺を販売します!**

大阪更生保護連盟よりの推奨品で当会の活動資金になります。少し太めでなめらかな麺です。是非ご協力ください。

**会員募集**

茨木地区更生保護女性会は、更生保護と子育て支援のボランティア活動をしています。入会のお申し込みは下記事務局までお願いします。

茨木市福祉部地域福祉課  
更生会担当 宛

TEL 620-11634  
AX 621-1660

# なでしこ“ほっとサロン”

- ・毎月第3土曜日 10時～12時 (2月、8月はお休み)
- ・福祉文化会館1Fサポートセンターにて

コロナ禍ではありましたが、6回実施することができ、参加者は延べ約50人でした。

**4月** 役員が多かったので、総会の相談をしました。

**7月** ・手拍子の花束パート2  
・お話し会  
発達障害であるが特技を生かして活躍されている方の話等

**10月**  
・手拍子の花束パート3  
・「フードパントリー茨木」の話  
・生活に役立つ折紙等

**11月・1月**  
岸田尚美さんに俳句のお話をさせていただきました。句集「明るき空のまま」

**12月** 来年の干支のトラのかわいい折り紙を作りました。

## 研修部、地域との連携協働活動推進部の合同研修会

- ◆とき：令和3年11月8日(月)
- ◆ところ：福祉文化会館302号室

コロナの影響で研修会は2年振りの事で、久しぶりに会員の方々の顔が見られて嬉しく思いました。「しゃぼん玉」のビデオ視聴は1時間半と少々長かったです。考えさせられる事が多くありました。会員からの感想は、この少年はおばあちゃんから「いい子、いい子」とはじめてほめられ認められた。他人をほめる事はなかなか出来ないのでも掛けた。人は初めから悪い人はいない。親からほめられた経験がない子はうまく育たないのでは？又お父さんの人がいたら違っていただけでは等でした。

私は、おばあちゃんの息子が帰って来た時、金の無心をする息子をしっかりとけ勘当する母親としてのおばあちゃんの側面を見ました。他人を育てる事は出来ても、自分の子供を育てる事は難しい事です。心が通い合う人間関係を築く事が、最大の課題のように感じました。



雪が散らつく寒い日、コロナ禍で感染対策が行われる中、15人の院生が成人式を迎えました。まず院長から、今までは周りから支えられてきたが、これからは周りを支えていかなければならないという話がありました。福岡茨木市長の祝辞に続き、大阪更生保護女性連盟の西尾会長から祝辞と記念品の贈呈がありました。次に新成人一人一人が自分の思いを漢字一文字に表わし決意を語りました。「少年院で成人式を迎えることになって申し訳ない。」「つらいことは周りのせいにして逃げていたが、これからは乗り越えていく。」「今まで育ててもらったことを感謝し、これからは親や家族を大切にします。」等でした。そして各保護者からもメッセージがあり職員が読まれました。「ずっと応援している、見守っています。」「ということばが多くありました。新成人の謝辞では、皆一粒ずつの種を持っていくからしっかりと花を咲かせたいという言葉が心に残りました。最後に少年院の職員方が祝歌(いのちの歌)を合唱され、愛情あふれた歌声に感動しました。式が終わる退場していく新成人を、二度と過ちを犯さずしっかりと歩んでほしいと願いながら拍手で送り出しました。

令和4年1月14日(金) 浪速少年院  
雪が散らつく寒い日、コロナ禍で感染対策が行われる中、15人の院生が成人式を迎えました。まず院長から、今までは周りから支えられてきたが、これからは周りを支えていかなければならないという話がありました。福岡茨木市長の祝辞に続き、大阪更生保護女性連盟の西尾会長から祝辞と記念品の贈呈がありました。次に新成人一人一人が自分の思いを漢字一文字に表わし決意を語りました。「少年院で成人式を迎えることになって申し訳ない。」「つらいことは周りのせいにして逃げていたが、これからは乗り越えていく。」「今まで育ててもらったことを感謝し、これからは親や家族を大切にします。」等でした。そして各保護者からもメッセージがあり職員が読まれました。「ずっと応援している、見守っています。」「ということばが多くありました。新成人の謝辞では、皆一粒ずつの種を持っていくからしっかりと花を咲かせたいという言葉が心に残りました。最後に少年院の職員方が祝歌(いのちの歌)を合唱され、愛情あふれた歌声に感動しました。式が終わる退場していく新成人を、二度と過ちを犯さずしっかりと歩んでほしいと願いながら拍手で送り出しました。

令和3年11月25日(木) 大阪合同庁舎4号館4F講堂  
新会員研修はコロナが少し落ち着いた11月末に、府内各市から参加者1人の限定つきで実施されました。前半の講義は大阪保護観察所民間活動支援専門官の西岡氏による、更生保護活動の基礎知識でした。まずペンギンキャラクターのホゴちゃん紹介で「飛行できない、イコール非行しない」から始まりました。更生保護の言葉に重圧を感じていた私でしたが、「会員の皆さんはボランティアです。保護司の方々、BBS会員の方々と連携し、再犯防止や子どもの健全育成、犯罪抑止など社会を明るくする運動を担うボランティア団体です。」の言葉で重圧から解放されました。後半は「高槻地区更生保護女性会」の活動紹介でした。昭和41年発足時は会員35人でしたが、現在は71人。会全体の運営は、11人の役員が研修援助部、ミニ集会推進部、広報部の企画・立案を担当します。各地域の活動は地域代表(幹事)を中心に会員の特技を生かした、他団体との共催活動です。目を引いたのは、年2回発行の広報誌「なでしこ」とPR誌や冊子の発行。行事ごとの手作りポスターなどの作成でした。コロナ禍での活動についての質問には、「コロナで活動できる状況にはありません。1日も早いコロナの終息を願うばかりです。」と。これには参加者全員がうなずいていました。講義、活動発表と刺激を受けた実り多き研修でした。

令和3年11月25日(木) 大阪合同庁舎4号館4F講堂  
新会員研修はコロナが少し落ち着いた11月末に、府内各市から参加者1人の限定つきで実施されました。前半の講義は大阪保護観察所民間活動支援専門官の西岡氏による、更生保護活動の基礎知識でした。まずペンギンキャラクターのホゴちゃん紹介で「飛行できない、イコール非行しない」から始まりました。更生保護の言葉に重圧を感じていた私でしたが、「会員の皆さんはボランティアです。保護司の方々、BBS会員の方々と連携し、再犯防止や子どもの健全育成、犯罪抑止など社会を明るくする運動を担うボランティア団体です。」の言葉で重圧から解放されました。後半は「高槻地区更生保護女性会」の活動紹介でした。昭和41年発足時は会員35人でしたが、現在は71人。会全体の運営は、11人の役員が研修援助部、ミニ集会推進部、広報部の企画・立案を担当します。各地域の活動は地域代表(幹事)を中心に会員の特技を生かした、他団体との共催活動です。目を引いたのは、年2回発行の広報誌「なでしこ」とPR誌や冊子の発行。行事ごとの手作りポスターなどの作成でした。コロナ禍での活動についての質問には、「コロナで活動できる状況にはありません。1日も早いコロナの終息を願うばかりです。」と。これには参加者全員がうなずいていました。講義、活動発表と刺激を受けた実り多き研修でした。

令和3年度  
茨木地区更生保護女性会  
総会  
とき 令和3年4月19日(月)  
ところ 福祉文化会館303号室



新役員より令和3年度事業計画案、予算案が提案され承認されました。

- 会長 西島幸江
- 副会長 木元美子
- 会務 太田景子
- 会計 植田孝子
- 監事 辻道子
- 仲田清美
- 咲子

昨年同様、新型コロナウイルス禍の為、通常の総会は開催されず、当日出席の役員・理事と集まった委任状を加え、役員理事会を代替総会としました。議事では令和2年度事業報告・決算報告が承認され、続いて役員改選があり次の通り新役員が選出されました。



令和4年1月11日  
茨木市更生保護推進協議会より助成金10万円をいただきました。



救世軍希望館



浪速少年院



子供の家



レバノンホーム

更女会 愛の募金  
ありがとうございます  
会員の皆様の温かいご好意で沢山の愛の募金が集まりました。そこで昨年同様、令和3年12月7日に関係四施設に2万円ずつ慰問金としてお届けすることができました。各施設からは「クリスマス会やお正月に使わせて頂きます。」と喜んで頂き「丁寧なお礼状を頂きました。今後共趣旨をご理解いただき、ご協力のお手伝い申し上げます。」

## 第71回 「社会を明るくする運動」

令和3年7月17日(土)、クリエイトセンターにて市民大会が開催されました。今年もコロナ禍のため、はじめてオンライン配信で実施され、いつもと違う雰囲気を感じられました。会場入場者は70人、オンライン配信申し込みは200件、動画再生回数は535回でした。講演は映画「ビリギャル」主人公のモデルとなった小林さやかさん(33)。ごく普通のお嬢さんという感じ。テーマは「子どもの能力を引き出す大人のあり方」。高校までのご本人や家族の環境を包み隠さずお話されました。弟は父の影響で野球漬けの毎日、妹は不登校、自分は高校までビリギャル。そんな中でも母だけはずっと子どもを信じきる子育てをしてくれたのです。そしてユニークで熱心に指導してくれた塾の先生との出会いがありました。母と先生のために一生懸命努力することを誓い、見事慶応大入学に成功したのです。そんな母の教育方針は、子



どもと対話しよう、子どもを信じきる子育てをしよう、子どもにわくわくすることを身につけてほしい。その為には母はあらゆる努力を惜しみませんでした。では「挑戦」に必要なものとは何でしょうか？  
①「わくわくする」目標を設定する  
②根拠のない自信をもつ  
③戦略をたてる  
④目標や夢を公言する  
⑤モチベーションが下がる環境を避ける  
と氏は5つの項目にまとめられました。子どもの能力を引き出すためには、まわりの大人が子どもを信じきり、期待を込めれば人は伸びる(ピグマリオン効果)と小林さんは力説されました。